



NPO Honokuni

Forestry Association

Forest

フォレスト NPO(特定非営利活動法人)
Vol. 101 **穂の国森づくりの会**

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail/honokuni@honokuni.org
http://www.honokuni.org/

穂の国森づくりの会は、1997年に任意団体としてスタートし、創立20周年を迎えることができました。これも偏に地域の皆様方のご理解とご支援の賜物と、心から厚く感謝申し上げます。

この20年の間に、穂の国森づくりプランの発表や小学校への森林環境学習支援など、全国的にも注目される様々な事業を展開し、林野庁長官賞や内閣府特命大臣賞を始めとする数多くの評価をいただきました。

しかし、東三河地域の森林地域は、現在も厳しい状況が続いています。創立20周年記念事業でも話題になりましたが、もう一度、東三河の森林の多面的価値を見直し、その価値を存分に活かすための新たな仕組みづくりが必要ではないでしょうか。皆様とともに、森林を活かした未来ある東三河地域を創造していきましょう。(理事長 神野吾郎)

創立20周年記念事業

『穂の国の森』これまでとこれからを開催しました

平成30年2月6日(火)、穂の国とよはし芸術劇場PLAT(豊橋市西小田原町)「アートスペース」で、穂の国森づくりの会創立20周年記念事業『「穂の国の森」これまでとこれから』を開催しました。平日の昼間にもかかわらず、定員を上回る約180名の方々に参加いただきました。

進行は、まず、当会の創立に至る経緯と20年間の活動をまとめたVTR「穂の国森づくりの会20年の歩み」を上映しました。

さて、この記念事業は、2部構成になっています。第1部は、伊勢神宮の第62回神宮式年遷宮(2013年)を取り上げた長編ドキュメンタリー映画「うみやまあひだ～伊勢神宮の森から響くメッセージ」の上映会を開催しました。

この映画を通じて、森から海へ、また森へとめぐる自然の循環の中に、私たちが忘れつつある価値を再発見することを目的に上映しました。

映画のイントロダクションは以下のとおりです。



▲穂の国森づくりの会20年の歩み
(当会のホームページでご覧いただけます)

穂の国森づくりプランの提言の実現、森林整備活動に対する林野庁長官賞や小学生への森林環境教育活動に対する内閣府特命大臣賞の受賞など、これまでの成果を振り返りました。

続いて、当会の神野吾郎理事長から、これまでの活動に協力をいただいた地域の皆様への感謝と、これから当会が取り組むべき課題について挨拶がありました。

長編ドキュメンタリー映画 うみやまあひだ ～伊勢神宮の森から響くメッセージ～

2015年マドリッド国際映画祭

《外国語ドキュメンタリー部門最優秀作品賞》受賞

2015年マドリッド国際映画祭

《外国語ドキュメンタリー部門最優秀プロデューサー賞》受賞

2015年シェフィールド国際ドキュメンタリー映画祭

《環境賞》ノミネート

■監督/撮影監督：宮澤正明

【プロフィール】

1960年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。

1985年に赤外線フィルム作品「夢十夜」で米国ICP第一回新人賞。

代表作「RED DRAGON」「伊勢神宮」「蝶LIVING IN JAPAN」

■エグゼクティブプロデューサー：奥山秀朗

■プロデューサー：服部進、鎌田雄介、瀧澤信

「うみやまあひだ」公式webサイト

<http://umiyamaaida.jp/>

第2部は、『森林の恵みを活かした未来ある地域づくり』をテーマにパネルディスカッションを開催しました。

①森林の多面的価値を見直すこと、②森林の多面的価値を活かす人材育成とその仕組みづくり、について神野理事長がコーディネーターを務め、以下の方々をお招きし討論が行われました。

パネリスト

瀧澤 信さん

「うみやまあひだ」プロデューサー
(株)サステナブル・インベスター代表取締役社長

田實健一さん

合同会社新城キョコリーズ代表社員
愛知県指導林家

野中 葵さん

2017ミス日本みどりの女神
農林水産省「みどりの広報大使」、「地球生き物
応援団・グリーンウェイブ大使」、「CLT広報大使」

宮本 憲さん

愛知県立田口高等学校農場長

※職名は、パネルディスカッション開催当時

田實さんからは、自身の経験から、森林を管理する担い手を育成していくためには住環境を支援し、年間を通じて安定的な仕事があることが重要であると問題を提起していただきました。

宮本さんからは、田口高等学校が愛知県内で唯一の「林業科」の名称を残したことへの思いと、実習を重視した林業の担い手育成カリキュラムについてVTRを交えて紹介いただきました。

野中さんからは、一般の方々に緑や森の中で楽しく過ごしてもらうためのヒントを、1年間全国各地の森を訪ねた事例を交えながら、女性目線で提案していただきました。

瀧澤さんからは、「個人の所有する資金は、都市部や自身と関係のないところに流れている」と問題提起。持続可能な社会の実現には、正常な資金循環が必要不可欠と考え、(株)サステナブル・インベスターで「森林ファンド」を開始し、「うみやまあひだ」を製作、プロデュースした経緯を説明いただきました。

また、田實さんと瀧澤さんから、現在の日本では、森林の価値や境界や所有権などあらゆる情報が圧倒的に不足していることを指摘いただきました。

この指摘を受けて、神野理事長は、当会が1999年に発表した「穂の国森づくりプラン」の提言の一つである「森林情報センター構想※」をドイツでの事例を交えて説明しました。

最後に、穂積新城市長から、国の森林環境税(仮称)の導入や東三河広域連合の発足などを好機に、森林情報

センターを全国に先駆けて、この東三河地域で実現できるチャンスであるとのコメントをいただきました。



▲パネルディスカッションの様子



▲パネリストの皆さん

(左から瀧澤さん、田實さん、野中さん、宮本さん)

森林情報センター構想とは？

穂の国森づくりプランの主要三提言の一つで、穂の国森づくりプラン発表後も検討が継続され、平成24年度に新たな提言書を取りまとめました。

(仮称)穂の国森林情報センターの担う役割は、

- ①森林管理のための森林情報のデータベース化、
- ②森林のアセスメント、③森林資源の利用促進、④人材育成(森林管理、環境教育など)、⑤森林と市民を結ぶ交流窓口など、多岐にわたります。



▲ドイツ北部のシュネフェルディングンにある森林体験施設 エールホルンNo1 (森林情報センターのモデルとなる施設)

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しします

その10
「東栄町西園目」
中西 正

秋の薬草観察会in東栄町 2006.10.8

東栄町の東部に位置する西園目（にしそのめ）地区、その中央を流れているのが西園目川だ。この川は天竜川の支流である大千瀬川に合流する。今回のフィールドはこの西園目川沿いの自然である。入り口付近には三ツ石と呼ばれる砂岩の三段の巨石がある。道沿いにはほかに柱状節理の岩や玉ねぎ状構造の岩が見られる。大千瀬川には淵や瀬が発達し、ポットホールも見られる。コースの中には吊り橋もあり、美しい景観を見せる渓谷での観察会だった。講師は高柳先生だった。

植林が可能な場所にはどこもスギ、ヒノキが植えられている。それらの隙間にコナラ林やシイ群落がみられる。林の縁にはポタンズル、センニンソウなどのつる植物が絡まっている。ポタンズルの葉はポタンのように何枚もの小葉でできており、センニンソウの葉は小葉3枚からできている。これらの中にはノコンギクやヒガンバナが咲いている。岩が露出した場所にはイワヒバ、イワタバコ、ウラハグサなどが付着している。岩の下には水が染み出た場所も多く、そこにはツリフネソウやキツリフネソウなど湿地を好む植物が生えている。ドクゼリもあり、この茎は空洞で根元は太く大きな株をつくり、白い細かな花を笠状にたくさんつけていた。川の流れの緩い場所にはつるを伸ばしたツルヨシが生えていた。

植林地の中にはヤブツバキ、サカキ、アオキ、アラカシといった常緑広葉樹が見られた。標高は300mに満たない場所だけにこれらの暖地に多い種類が混じっているのだろう。他にはヤブミョウガも見られ、この一帯がそれほど寒くない環境であることを表していた。

昼食は千代姫荘で撮った。今回出された食事は鮎、東栄チキン、天ぷら、それに蕎麦もついていた。



▲千代姫荘の昼食

昼食の後は研修室で薬草の話聞いた。午前中に材料を用意しており、実物を示しながらの話である。ゲンノショウコはフウロウソウ科で白い花をつけていた。イシャイラスの別名を持ち、薬草の中の薬草で胃腸に効くという。キキョウ科のツリガネニンジンはずす紫色の釣鐘型の小さな花をつけていた。これは日干しにしたものを咳止めに使うという。オオバコ科のオオバコは人が踏み込む場所に多い植物で、これは咳止め効果や利尿作用があるということだった。

今回の観察会は食事付きで、内容も役立つ植物学といったところで希望者が多いということだった。



▲三ツ石



▲煮え淵ポットホールに架かる吊り橋



▲ゲンノショウコ



イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等となたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法をご確認の上、補の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

4月22日(日)

花満開の愛知県民の森 自然観察ハイキング

共 催：三河生物同好会
場 所：愛知県民の森(新城市)
集 合：午前9時に豊橋信用金庫駅前
お客様相談所前
解 散：午後5時に集合場所
定 員：先着順40名
参加費：3,000円(バス代、保険代)
内 容：花が見ごろのミツバツツジやホンバシャクナ
ゲなど春の森の自然を観察します



▲ミツバツツジ



▲ホンバシャクナゲ

持ち物：昼食、飲料、雨具等
申込み：参加希望者の全員の住所、氏名、電話番号
を事務局へご連絡下さい



▲森の中のムービングメディテーションの様子 →

寄付をいただきました。

ひまわり農業協同組合様より
金 2,895円

チャリティー募金を寄付いただきました。
大切に活用させていただきます。
ありがとうございます。

5月16日(水)~
17日(木)

森の中で自分を磨く! 次世代リーダー養成講座

フジテレビ「ホンマでっか!?TV」に出演の
藤野貴教さんがメイン講師です!

共 催：株WABISABI
場 所：愛知県民の森(新城市)
集 合：16日午後1時にモリトピア愛知
解 散：17日午後3時に集合場所(1泊2日)
対 象：企業等の若手・中間管理職員など
※新入社員の方も大歓迎です。
定 員：先着順20名
参加費：50,000円/名(宿泊代、夕食・朝食・昼食込み)
(当会会員外は58,000円/名)

《1日目のプログラム》

- ①AI時代が進むと働き方はどう変わるのか?(座学)
- ②次世代リーダー育成プログラム(座学)
- ③森の中でマインドフルネス(体験)
- ④焚き火チームビルディング(体験、交流会)

《2日目のプログラム》

- ①森の中のムービングメディテーション(体験)
- ②コミュニケーション力を高める森づくり(体験)
- ③研修のまとめ(座学)

※研修内容の詳細は、当会ホームページのチラシをご参照ください。
<http://www.honokuni.org/>
また、研修の様子は、下記のYouTubeをご覧ください。
https://www.youtube.com/watch?v=k0y_UeUdQAA

申込み：事務局へ5月7日(月)までにご連絡ください。
折り返し「エントリーシート」をお送り致します。

9月19日(水)~20日(木)も上記と同様に開催致します。
先行予約も受付中です!

私たちと一緒に森へいきませんか?
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも
会員になることができます。
会費:個人会員1口・3,000円/団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org